

紅緑偏「滑稽俳句集」を読み解く 8

2010.1.27 (聞き手 高橋素子)

高橋 毎回面白く為になるご解説有難うございます。

取分け、前回のご解説にはお腹を抱えて笑ってしまいましたが、笑いのなかにも名言や驚く事実を教えて戴き、毎回のご解説がまた一段と楽しみになって参りました。

会長 「面白くて為になる。」・・・
うーん！私の解説の売り込みまで・・・貴女は優れたインタビューアですね。
話半分にしても「面白い」か「為になる」のどちらか・・・だと思いますよ・・・

高橋 でも、世の中には、「面白くて為になる」話はいくらでもありますよ。
会長は照れていらしゃる様ですが、本当にこのインタビューの解説もそのひとつです。・・・

◆初っ端からからまれてゐるインタビュー（雑）

・・・あっ！これ、会長の句（★しまひにはからまれてゐる初電話・・・健）のパロディーです。（笑い）

では、前回の会長の名言やご教授戴いた素晴らしい学習内容は、「協会報一月号」を見直して戴く事と致しまして、本日は「春動物」の部門、「蛙」の宗鑑の句から始めさせて戴きます。

「蛙」の季語も「猫の恋」と同じ位当時の俳人に

面白がられたようですね。物凄い句の数ですよ。

☆ **手を付いて歌申上る蛙かな** 宗鑑

俳諧の祖と呼ばれ選句集「犬筑波集」を編纂した山崎宗鑑の蛙の擬人化の句ですね。そう言えば会長に以前「犬筑波集」の冒頭句を教えて戴いた記憶が・・・（笑い）

☆ **かれ井戸へ飛そこなひし蛙哉** 鬼貫

☆ **をよぐ田も飛ぶ田も有て蛙哉** 也有

ご説明下さいね。

会長 宗鑑の句はそう擬人化ですね。
鬼貫・・・の句は、蛙が潤井戸へとんだのです。
飛び損なったのです。
也有の句は蛙の居住環境に言及していますね、水が潤沢なのか はたまた土塊を越えねばらぬとか

高橋 続いて一茶の句が沢山並んでいますよ。
前回、会長は「現実が厳しいからこそ一茶は小動物にやさしいのです。一茶自身が小動物になっているのです」と、また「一茶の心は厳しい世俗面と優しい仏様のような面とが一本の棒の両端にあり真ん中で繋がっている」とも、教えて下さいましたね。

☆ **やせ蛙負けるな一茶爰にあり** 一茶

☆ **親分と見えて上座に鳴蛙** 一茶

☆ **落の葉に飛んでひつくりかへる哉** 一茶

会長 最初の句は争っている蛙の痩せている方を応援しているとされていますが、別の見方もありましてね、一茶は晩婚でした。
若い妻を娶って性生活にも疲れが見えてやせ蛙に

なっていた。
交尾している蛙を詠んだのだろうと・・・。

「親分と・・・」の句は上座だから・・・とこれはわかりやすい。

落の葉の句は「ひつくり蛙」と駄洒落ですが、結構面白いですね。

高橋 えっ！やせ蛙の句は、性生活で一茶が自分を詠んだ句だと・・・蛙の句続けま～す。

- ☆ 雲雀派と蛙派と歌の議論哉 子規
- ☆ 妻負うて小川流るゝ蛙かな 鳴雪
- ☆ ふんばつた儘で流るゝ蛙かな 李坪
- ☆ 胸張で何を蛙のへらず口 柳雲

ご解説くださいね。

会長 子規の句は「歌の議論」ですから短歌会の寸景ですね。子規の巧みはなんでもないことを句として成立させる「ワザ」ですね。

鳴雪の句は、交尾する蛙ですがこれは逆なんですね。現実には、「夫負うて」です。雄のほうが小ぶりなんです。それを知りながら鳴雪は「妻」としてきれいな句にしたのではないのでしょうか。

- ★ ふんばつた儘で流るゝ蛙かな 李坪

これは分かり易い風景です。

- ★ 胸張で何を蛙のへらず口 柳雲

擬人化の句ですが実在の人物を揶揄して詠んだと

も考えられます。

高橋 成る程！面白いですね。
ところで「蛙」と言えば会長も

- ★ 蛙てふ文字蛙の字に潜む 健
- ★ 食用蛙疾うに帰化してゐるはずの 健
- ★ 跳躍は得意の種目雨蛙 健

という面白い句を詠んでいらっしゃいますね。

会長 文字を見ている、とさまざまな発見がありまして
ね。滑稽句になりやすいのです。
蛙は蛙に潜みやすいのですね。

食用蛙は鳴き方が牛に似ているので「ウシ蛙」とも
呼ばれるもので、大正時代に米国から移入され
ましたね。

ザリガニは食用蛙の工サとして移入されました。
いずれも逃げだして野生化しましたが、そろそろ
帰化させてやったらどうか。ということです。
跳躍の句は雨蛙の脚力を賛美したものです。

高橋 次の季語は「蜂」ですよ。

- ★ 蜂の巣に近づいてゐる宇宙服 健
- ★ 藤の蜂頭隠して尻隠さず 健

等と会長も蜂の面白い句を詠まれていますね。

会長 蜂の巣に近づいてゐる宇宙服・・スズメバチの巣
に近づいている・・防護服は宇宙服に似ていま
す。

頭隠して尻隠さず・・・これは写生句ですが「頭隠して尻隠さず」は人間にもあることですね。

高橋 それでは、百八年前の「蜂」の句に参ります。

☆ **巢の蜂の地主さしたる騒哉** 大江丸
☆ **蜂知らぬ花を虻の知る垣根** 虚子

これは、「蜂」と「虻」の二つの春の季語が入ってますね。

☆ **かしましき女は蜂にさされけり** 四方太

この時代にも女は男に比べて、姦しいと思われていた様ですね。

でも、蜂にさされるとはひどい！
これは詠み手の願望が・・・？（笑い）
ご説明下さいね。

会長 **巢の蜂の地主さしたる騒・・・**
ということは普通は巣をつくるのだから地主を刺すことはしないのでしょうか。

地主は村の有力者・・・
だからゴマスリで大騒ぎする。よせばいいのに触れ回って余計に騒ぐ。それが可笑しい

次は虚子の句

☆ **蜂知らぬ花を虻の知る垣根** 虚子

発見ですね。虻が入る花は蜂は入らないということです。

高橋 「蜂」の句続けますね。

☆ 庵主張紙す曰く厠に蜂の巣あり 虚吼

☆ 蜜蜂の短兵急に刺さんとす 格堂

厠に蜂の巣とは大変！・・（笑い）
ご説明くださいね。

会長 トイレに蜂が巣をつくっている・・ということですね。張紙を見た客人はたまけるでしょうね。可笑しいとうより恐ろしい。

「短兵急」は蜂が接近して急に刺すということですね。「短兵」は短い武器のこと。この句は「刺さんとす」が可笑しい。

高橋 次の季語は「虻」ですよ。

☆ 虻曰く願くは蜂の剣を得ん 紅緑

会長 虻にしてみれば「蜂の剣」が羨ましいのだろうという作者の思い込みですね。
思い込みは常に滑稽の原点です。

高橋 思い込みが滑稽の原点なのですね。
次の季語は、「蝴蝶」です。

☆ おんひらひら蝶も金比羅参り哉 一茶

☆ 牛糞にとまらんとせし蝴蝶哉 子規

☆ 蝶に乗りて俳句の神の上りけり 梧月

☆ 楽天の蝶 厭世の田螺かな 素泉

「楽天の蝶」「厭世の田螺」ってなんですか？

会長 おんひらひら蝶も金比羅参り哉

小林一茶32歳の4月に毘羅参りをしたのだそうです。その時の句ですが「ひらひら」に「御・おん」をつけたところが「ミソ」です。金比羅様の尊い蝶々ですから・・

「牛糞」と「胡蝶」の句は醜と美の落差ですね。楽天の蝶・厭世の田螺・・これも対極にあるものですね。

高橋 「蝴蝶」といえば会長も次の様な句を詠んでいらっしゃいますね。

★ 初蝶のためらひ風の誘惑に 健

★ 炎天を疾く過ぐ揚羽蝶の影 健

会長 ためらひ・・は踏みとどまっている蝶ですね。一旦風に身をまかせたら、どこに飛ばされるかわからない。

炎天を・・の句は、蝶を見ていない 影だけを見ている。

高橋 次の季語は、「蜆」・「蛤」・「蜾」などの貝類ですよ。

☆ 蛤の欠伸蜆の嚏かな 浅茅

☆ 蜾蜆小桶に何を語るらん 紅緑

蛤のあくび？蜆のくさめ？何でしょう？
ご説明下さいね。

会長 蜆気楼は「蛤」の「あくび」が原因だそうです
ね。 蜆の噓は創作でしょうね。

☆ 蜆小桶に何を語るらん・・砂を吐かせている
のでしょうね。舌をだして話しているように見え
たということでしょう。擬人化ですね。

高橋 今はそんな事を言ったら笑われますが、古くは確
かに大蛤が吐く気によって蜆気楼が現れると信じ
られていたみたいです。

あっ！師の句集「鯉の耳」に蜆の句を二句見つけ
ましたよ。

★ 唇をとがらせ夫婦蜆汁 健

★ 肝臓のどこぞにしみる蜆汁 健

蛤・蜆の句が見当たりませんので、即興で一句お
願い出来ませんか？

会長 蜆汁の句は熱いので吹いているように見えて実は
朝から喧嘩しているんです。

肝臓の・・蜆は肝臓にいいですからね
蛤の句・・★蛤を桑名きや伊勢に来たからは
蜆の句・・★薄味をあさりとも言ひ浅蜆汁

おあとがよろしいようで・・・・。

高橋 えっ！最初の句は夫婦喧嘩の句？
桑名は「食わなきや」あさは「あっさり」ですか？有難うございます。（笑い）

次は「田螺」の句にゆきますね。

☆ **田螺申其の角捨てよ蝸牛** 蓼太

そう言えば田螺と蝸牛の殻の中身は一見、角があるかないかです・・・よね？

☆ **俳諧寺一茶の宿や田螺和** 碧梧桐

☆ **驚きの田螺引くりかへりけり** 北涯

☆ **臍好きのかみなりさまや田螺和** 紅緑

分かったような分らぬような、ご説明下さいね。

会長 ☆ **田螺申其の角捨てよ蝸牛**

作者は田螺の味方ですね。
蝸牛の角が腹立たしい。

☆ **俳諧寺一茶の宿や田螺和**

一茶は長野県の柏原の出身です。たしか小宮山公園・・・とやらに隣接して俳諧寺がありました。ここに泊まったのですね。

☆ **驚きの田螺引くりかへりけり**

田を干すと田螺が干からびてひっくり返る。それを「おどろきの」として深みのある句にしています。

☆ **臍好きのかみなりさまや田螺和**

田螺はなんとなく「臍」に似ているからね。

高橋 成る程そう言うことですか？次の季語は
「獺祭」です。

☆ 獺の祭りに蛸の踊りかな 格堂

会長 ☆ 獺の祭りに蛸の踊りかな 格堂

・ ・ 獺祭は獺が獲物の肴を岸にならべているので
すね。そこに蛸の踊りは。会場を混乱に陥れ
る ・ ・ わけですね。

高橋 今日は即興句等いろいろご無理申し上げてすみま
せんせした。
お蔭様でとても面白く良い勉強になりました。
今後の滑稽句の鑑賞、作句に活かしてゆきたいと
思います。本当に素敵な学習有難うございまし
た。

会長 先輩たちの滑稽句を読み解くには当時の「常識」
を知る必要がありますね。
一見なんの変哲のないような句も当時の非常識が
あるわけですね。それを知らないで読み解くのが
現代の非常識でしょう。

(2010年1月号)